

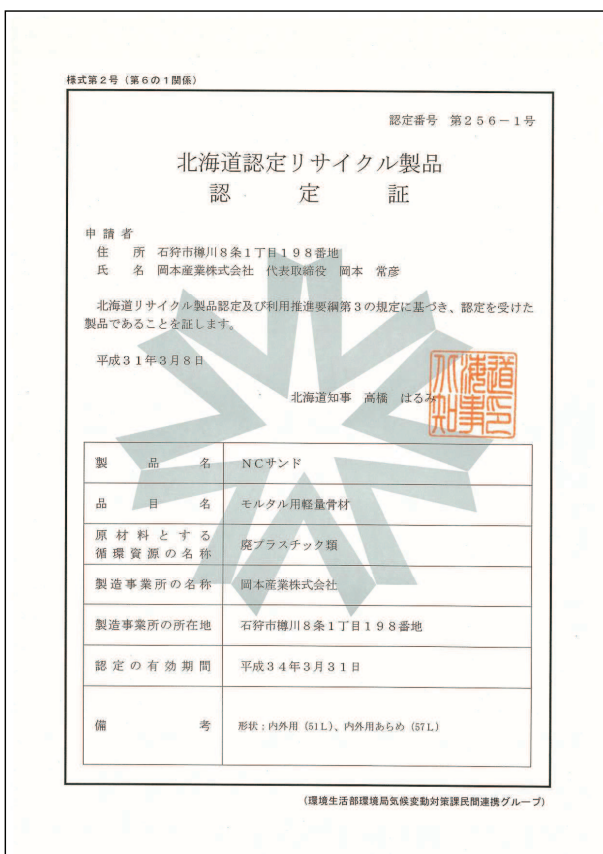
NCサンドの施工上の注意

- ①NCサンドは必ず1袋単位で使用して下さい。
- ②練り置き時間は60分程度なので早目に使用して下さい。
- ③強い日照の施工は十分注意して下さい。
- ④寒冷期間中の施工は十分注意し、防凍剤を使用して下さい。

熱伝導率試験 NCサンドモルタル

試験	建築材料の熱伝導率試験(熱流計法・気乾)				
試験項目及び試験方法	JIS A 1412-2「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法 - 第2部:熱流計法(HFM法)」				
試験期間	2019年5月13日～5月15日				
試験結果	試験体	試験体1	試験体2	試験体3	
	実測寸法 [m]	0.300×0.299	0.298×0.300	0.298×0.300	
	実測厚さ [m]	0.0465	0.0473	0.0474	
	実測質量(受領時) [g]	4126	3966	4035	
	実測密度(試験直前) [kg/m ³]	984	930	944	
	設定温度条件(中心温度) [°C]	23	23	23	
	測定日	2019/5/13	2019/5/15	2019/5/15	
	熱抵抗 [(m ² ・K)/W]	0.194	0.203	0.193	熱伝導率平均値
	熱伝導率 [W/(m・K)]	0.24	0.23	0.25	0.24

地方独立行政法人北海道立総合研究機構建築研究本部



特約店

岡本産業株式会社

本社 〒061-3258
 工場 北海道石狩市樺川8条1丁目198番地
 TEL (0133) 76-2575 FAX (0133) 76-2585
<http://www.okamotosangyo.co.jp>
 e-mail: info@okamotosangyo.co.jp

断熱モルタル
一発仕上げ



万能内外モルタル用軽量骨材

NCサンド



岡本産業株式会社

NCサンドの特徴

軽量骨材とセメントの混合により軽量モルタルが作れます。従って作業性が良く、工期短縮、経済的で断熱保温効果に優れ、結露防止にも役立ちます。また、弾力性があり、クラック防止にも非常に良く安定した性能を発揮する軽量モルタルになります。

軽量性



セメントモルタルの約1/2以下の重量です。

クラック防止



NCサンドは乾燥収縮が少なく、亀裂は大幅に減少します。又、弾力性を有しておりますので割れにくくなります。

NCサンド標準施工方法

- ①下地の清掃は十分にします。
- ②塗り作業前にコンクリート表面に散水します。
- ③NCサンド1袋+セメント2袋の割合で空合せを良くし、次に水を入れ、良く練り合わせます。
- ④ALC板、ブロック等の面に作業する場合、シーラ処理をします。
- ⑤浴室施工の場合は接着剤を1kg~2kg混入すると防水性能が発揮します。
(SBR系又はアクリル系混入)
- ⑥外壁ラスモル仕上げも出来ます。



- ①
●下地清掃を十分に行う。
(レイタンス塵埃、油等)



- ②
●塗り付け作業30分前に水打ちをする。
(下地への吸水を防ぐ)



- ③
●水引き具合を見て、厚3mm~5mmコテ塗りを行う。
(平均に塗り付ける)



- ④
●翌日散水養生。
(急乾燥を防ぐ)

NCサンドの断熱性能

NCサンドモルタルの熱伝導率は0.24W/(m・K)で、一般モルタルの熱伝導率1.276W/(m・K)^(※)と比較し、「NCサンドモルタル」は5倍以上の優れた断熱性能を持ち合わせております。

(※)通商産業省(昭和55年2月)エネルギー使用の合理化に関する法律(昭和54年法律第49号)の適正な施工を図るため建築材料の断熱性に係る性能値

特長



NCサンド内外用(50kg用)

(接着剤・保水剤・繊維質調合)

骨材の大きさは1mm~2mm程度の物を採用し、内外薄塗り用としてご使用下さい。

用途：RC・ALC・ブロック 兼 補修用



NCサンド内外用あらめ(50kg用)

(接着剤・保水剤・繊維質調合)

骨材の大きさは3mm~4mm程度の物を採用し、内外厚塗り用としてご使用下さい。

用途：RC・ALC・ブロック下塗り兼用

※練り上がり容量 (NCサンド1袋+セメント2袋)

内外用 : 約51ℓ

内外用あらめ : 約57ℓ